

令和元年度第1回松戸市環境審議会
(会議録)

- 【開催日時】 令和元年8月23日(金) 午後2時から
- 【開催場所】 松戸市役所 新館5階 市民サロン
- 【次第】 令和元年度第1回松戸市環境審議会
*開会
*環境部長挨拶
*議題
(1) 松戸市環境計画の総括評価について
(2) 松戸市環境基本計画の検討について(諮問)
(3) 今後のスケジュールについて
(4) その他
*閉会
- 【出席者】 [委員]
・本條 毅 委員
・坂本 一憲 委員
・古井 恒 委員
・山田 千香子 委員
・増田 孝 委員
・椎名 憲一 委員
・秋谷 暢彦 委員
・曾宮 祐三 委員
・野口 功 委員
・大和 治枝 委員
・秋山 和敏 委員
・新 玲子 委員 ※欠席
・森田 雅久 委員 ※欠席
・小林 辰幸 委員 ※欠席
・長濱 和代 委員 ※欠席
- [松戸市職員]
・丸岡 新一 (環境部長)
・佐藤 充宏 (環境部参事監)
・門倉 隆 (環境政策課長)
・成田 由美子 (課長補佐)
・平野 昇 (主幹)

- ・小山 陽子 (主幹)
- ・松戸 孝雄 (主査)
- ・小野寺美枝 (主任主事)
- ・式田 諒 (主事)
- ・西村 健人 (主事)

【傍聴者】 2名

司会 　　ただいまから「令和元年度第1回松戸市環審議会」を始めさせていただきます。

　　本日の司会を務めさせていただきます、環境政策課の小山でございます。宜しくお願いいたします。

　　はじめに、環境審議会開催にあたりまして、環境部長の丸岡 新一からご挨拶申し上げます。

丸岡環境部長

皆様こんにちは、環境部長の丸岡と申します。

　　本日はお暑い中、松戸市環境審議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

　　また、日頃より、本市の環境行政にご理解・ご協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

　　さて、本市では、平成10年4月に松戸市環境計画を策定し、各種の取組みを推進してまいりました。その計画につきましては、令和2年3月をもちまして、20年間の計画期間の満了を迎えることとなります。この期間満了に伴い、本市としましても、新たな環境問題や社会情勢の変化に適応するため、次期計画の策定について検討を進めているところでございます。

　　本日は、次期計画の策定に向けて、昨年度実施いたしました、現計画に対する総括評価等のご報告並びに次期計画を策定するまでの進め方について、委員の皆様にご審議いただきたいと思っております。この後、担当から説明させていただきますので、本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

司会 　　最初に、事務局から本日配布した資料の確認をさせていただきます。

事務局 　　(配布資料の確認)

司会 　　ここからは、松戸市環境審議会条例第8条第1項により、議事進行を本條会長にお願いしたいと思います。本條会長、宜しくお願いいたします。

本條会長 それでは、これより、議事進行をさせていただきます。
最初に、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局 本日は事前に 4 名の方から欠席するとのご報告をいただいておりますので、出席者は計 11 名となります。よって、松戸市環境審議会条例第 8 条第 2 項に基づき、委員の過半数の出席により本会議が成立することを報告します。

本條会長 つづきまして、本審議会は松戸市環境審議会の組織及び運営に関する規則第 3 条第 1 項の規定により、公開となっておりますが、傍聴希望者はいますか。

事務局 2 名の傍聴希望がありましたので、ご報告いたします。

本條会長 それでは、傍聴を許可します。

(傍聴者 入室)

本條会長 それでは、議事を進めさせていただきます。本心配られました次第に沿って進めさせていただきます。
まず、議事の「(1)松戸市環境計画の総括評価について」を事務局から説明をお願いします。

松戸主査 (資料 2 に沿って説明)

本條会長 ありがとうございます。ただいま、議事 (1) の内容について事務局から説明がありましたが、ご質問等はありませんでしょうか。

秋山委員 2 つありますが、1 つは資料 2 の中で、「生き物」の漢字とひらがなが混ざっていることです。どちらかに統一したほうが良いと思います。
もう 1 つですが、この評価の計算は平均で出したのでしょうか。

松戸主査 ◎や○等の 4 段階の記号があると思いますが、その合計したパーセントで出しています。いきものの表現については確認します。

また、総括評価の表の 3 つの「めざすまちの姿」の項目がありますが、全体の中で 4 段階の割合がそれぞれの項目で何パーセントになるかを示しています。なお、表の一番下の数値は平均値になります。

秋山委員 加重平均ではなく、算術平均ということでしょうか。

松戸主査 算術平均になります。

秋山委員 そうすると、総括評価の表の合計は合わせたほうが良いのではないのでしょうか。計算上の問題であると思いますが、例えば「人と生きものが共存しているまち」の項目では合計すると 102 パーセントになります。4 段階のそれぞれの平均値も算術平均であれば、同様に数値を合わせたほうが良いと思います。

松戸主査 その点に関しましては、検討させていただきます。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

野口委員 こちらの資料は、個別の評価ではなく、環境計画全体の総合的な評価になると思います。しかし、一定の目標計画あるいは数値目標に対して評価しないと、進捗及び改善すべき点がわからないと思います。個別の指標の数値は白書でわかりますが、20 年間を見直して、次の計画を考える場合、個々の数値目標が示されないと、市民の満足度では次の施策が考えられません。環境政策課の中では個別指標についての検討をされていると思いますが、20 年間の個々の環境に関する現状などを整理しないと審議できません。

したがって、希望としましては、総括評価について、進捗状況や結果が見えるものが欲しいと考えます。

秋山委員 今のご意見と関連しますが、基本計画第 2 章の「松戸市の環境の現状と課題」において、個々の目標に対しての達成度、満足度、今後の方向性を示していただければいいのでしょうか。

松戸主査 計画の立て付けに関しては決まっていますが、課題を割り出したうえで、作るよう考えています。例えば、資料 2 の「健康的な日々を過ごすための環境が整ったまちについての評価」では、環境基準等があり、環境基準をどれくらい満たしているか等は、バックボーンの資料としては評価しています。また、新しい素案の中に課題を踏まえて、施策を作るようにしております。

野口委員 20 年間の進捗等が総合的にわかるように作っていただきたいと思います。

松戸主査 ご意見として承らせていただきます。

山田委員 23 年間の総括評価と出ていますが、23 年間の間の中間報告のような段階的な資料はないのでしょうか。

松戸主査 それぞれ個々の部局の実行計画等の中である程度の評価はされていますが、まとまった評価をするのは今回が初めてになります。

山田委員 23 年間で初めてまとまった評価をするというのは乱暴ではないでしょうか。

門倉環境政策課長

本来であれば 5 年や 10 年の中で、見直しをするべきではありますが、今回初めての見直しとなりましたことは、事務局として申し訳なく存じております。しかしながら、今回に関しましては、計画が終了の時期になっていることもありまして、23 年間を通した見直しとさせていただきます。

山田委員 わかりました。もう 1 点あります。環境というのはその年の産業の発展や人口の推移と大きく関係していると思います。したがって 1 つの資料として、そうしたものと照合させての総括としていただければ理解しやすいです。産業の発展と環境との相対関係などを単に満足度だけではなく、そうした客観的な指標があると思いました。

松戸主査 23年間で人口は3万人増えています。また、それ以上に世帯構成自体が変化し、高齢化率も上がっています。したがって、新しい資料としてこうした変化は入れておくべきであったと思います。

本條会長 他にご質問等がありますでしょうか。

野口委員 フィードバックに関しては、個別の分野で行われていると思います。本来は、フィードバックしたことを整理して、その上で全体としての総括を考えることになると思うので、希望としましては、具体的に中身が見える資料が欲しいと考えています。

松戸主査 わかりました。ご意見として承らせていただきます。

本條会長 他にご質問等がありますでしょうか。ないようでしたら、次の議事に移りたいと思います。

2点目の議事は、「(2) 松戸市環境基本計画の検討について（諮問）」となっております。

このことについて、お手元に配布している資料のとおり、市長から諮問が本審議会にされております。

答申については、第1回及び第2回環境審議会の審議結果を踏まえ、第3回環境審議会において行う予定です。

では、事務局から説明をお願いします。

松戸主査 (資料3に沿って説明)

本條会長 ただいま、事務局から議事(2)について説明がありましたが、質問等がある方はいらっしゃいますでしょうか。

古井委員 言葉の遣い方になりますが、「環境活動」という単語は具体的にどういったイメージでしょうか。

松戸主査 ゴミ拾いや生き物が生活する場所を確保するようなボランティア活動を考えています。また、里山等の人材育成も含めて考えています。

本條会長 より適した言葉はありますか。

門倉環境政策課長

文言に関しましては、調査し、適した表現にしたいと思います。

本條会長 他にご質問等がありますでしょうか。

古井委員 言葉の表現に関連しますが、資料に記載されております、「省エネ再エネ促進」の「再エネ」は再生可能エネルギーの省略でしょうか。省略しすぎではないでしょうか。

松戸主査 文言につきましては検討させていただきます。

本條会長 他にご質問等がありますでしょうか。

野口委員 素案が諮問されていますが、今年度の審議会では素案の答申で終わりになりますか。

松戸主査 今年度は答申で終わりになります。今後の予定としましては、来年度にパブリックコメント等で周知をし、審議会で審議していただくこととなります。

野口委員 パブリックコメントの後に審議するのでしょうか。

松戸主査 パブリックコメントの前後になります。

野口委員 わかりました。

本條会長 資料の一番最後にありますが、前回の松戸市環境基本計画の冊子のように、冊子を作るということがゴールになりますでしょうか。

松戸主査 はい。今年度は素案を作り、最終的には冊子を作ることがゴールになります。

本條会長 素案というのは、ほぼ現在のものと同じになりますか。それとも相当省略したものになりますか。

松戸主査 ほぼ現在の素案と同様のものになります。

本條会長 わかりました。
他にご質問等はありませんでしょうか。

山田委員 松戸市環境基本計画として4項目出されているかと思えます。その中で、23年間の総括評価の内容と基本計画の内容、そして、新たな計画で重点的に取り組むべきことといった点の関連性が必要だと思えます。そのような関連性はありませんでしょうか。

振り返りと今後の課題、重点的に取り組むべきところを出すことが評価の結果であると思えます。

松戸主査 おっしゃる通りで、まず計画の総括評価をしたうえでの新しい計画になると考えています。また、評価の中では、前計画の課題等を調べています。新計画においても、松戸市の課題を示し、内容と課題のつながりがあるようにしていきたいと考えています。

山田委員 そのような関連性を示していただけるとありがたいです。ありがとうございました。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

秋山委員 これまでの23年間の成果に対する評価において、達成できていないところと新たな課題が両方入った形での項目の分け方をした方が良いのではないのでしょうか。

また、環境キーワードを必ず入れたほうが良いと思えます。例えば環境省では現在、3Rの推進ではなく、4R、5Rといった表現であり、「持続可能な」「低炭素社会の促進」といった言葉を使用しています。市においても、環境キーワードとして使用するべきであると思えます。

さらに、つながりをもたせるという意味で、社会的な問題、経済的な問題を反映したような環境対策を計画の構成に入れる必要があると考えます。

松戸主査 前計画の課題等を洗い出したうえで、新しい項目を入れて、施策を作りたいと考えています。現在は施策案の段階でありますことから、そのような作り込みができていないかと思えますが、今後は素案を作るうえで考慮して作りたいと考えています。

山田委員 さらに、この計画であると、松戸ではなくても当てはまるものなので、松戸の特色や松戸らしきを出したほうが良いと思います。松戸の強みや弱みを考慮して、施策の中に重点的に取り入れた方が、客観的に松戸市の取り組みについてわかりやすいと思います。

野口委員 現行の計画では、フィードバックできないので、見直しをするためには、目標がはっきりしたものでなければならないと思います。

松戸主査 わかりました。今後、検討させていただきます。

本條会長 補足になりますが、基本計画なので概念的に評価しているもので、進行管理をする必要はないかと思います。

松戸主査 基本計画は理念的なものになりますが、各部局の個別の計画でリンクしています。そういった個別の分野で指標値を定められ、評価されていくことになると思います。

秋山委員 通常、基本計画は理念や全体の方針があり、その下に独自のアクションプログラムがあります。アクションプログラムの中で、進行管理や目標に対しての達成度等の個別の評価はできるはずです。

そして、アクションプログラムの結果を「環境の現状と対策」のところで示し、新しい計画を立て直すことができると思います。

また、環境審議会の際に、こうした情報を取り入れた内容の資料がいただければ審議しやすいと思います。

本條会長 実際には個別の分野での評価をしていますので、表現の問題であるかもしれません。

松戸主査 ご意見として承らせていただきます。

本條会長 他にご質問等がありますでしょうか。

古井委員 「松戸市環境基本計画の検討について」の2枚目の資料において、下水道の整備による水質改善及び1枚目の資料において、生活排水対策推進計画とありますが、下水道の普及率は低いのでしょうか。

松戸主査 下水道の普及率（人口比率）は 80%を超えていますが、今後も整備していく必要があると考えています。

本條会長 他にご質問等がありますでしょうか。ないようでしたら、次の議事「(3) 令和元年度松戸市環境基本計画検討スケジュールについて」を事務局から説明をお願いします。

松戸主査 (資料 4 に沿って説明)

本條会長 ただいま、事務局から議事 (3) についての説明がありましたが、質問等がある方はいらっしゃいますでしょうか。

秋山委員 中間報告は 1 回でしょうか。

事務局 中間報告は 1 回で考えています。

秋山委員 議論する内容は多いと思いますので、最終的な段階では修正が難しくなるのではないかと思います。したがって、場合によっては先に資料を送り、意見を伺うといった形のほうが良いと思います。

松戸主査 それにつきましては、事務局の中で検討いたしまして、改めて伝えさせていただきます。

本條会長 他にご意見等がありますでしょうか。ないようでしたら、次の議事「(4) その他」について、事務局から説明をお願いします。

門倉環境政策課長

本日はお忙しい中ご審議いただきありがとうございますございました。また、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございますございました。今回ご意見、ご助言いただきました資料等につきましては、次回の審議会もしくはそれ以前に皆様にお渡しできればと考えています。

次回につきましては、今のところ 11 月下旬を予定していますが、日程が決まり次第連絡させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいいたします。事務局からは以上です。

本條会長 委員の皆様から何かございますか。ないようでしたら、以上をもちまして、令和元年度第 1 回松戸市環境審議会を終了いたします。長時間にわたり、お疲れ様でした。

また、議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、司会を事務局にお返しいたします。

事務局 本日は、長時間にわたりありがとうございました。
以上をもちまして、終了させていただきます。

以上